



人材定着特集

せいえい
三つ星
リポート
☆☆☆

“キラリ”と輝く経営事例

Part
1

株式会社 夢とありがとう

代表取締役：秋川 俊光 氏

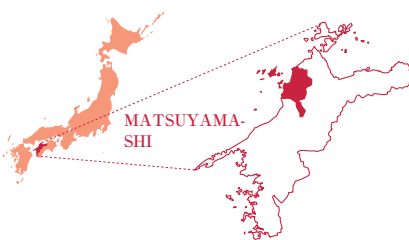
創業：平成 21 年

営業所：松山市二番町 3-3-1 (本店)

ほか 3 店舗

従業員：62 名 (うちアルバイト 50 名)

電話：089-934-3939 (本店)



営業時は大勢の人でにぎわう夢の家本店

☆☆☆
笑顔と元気の挨拶が飛び交う居酒屋

「いらっしやいませ!」「ありがとう
ございました!」

笑顔と元気な挨拶が飛び交う活気あふれる居酒屋「夢の家 本店」は、松山市の中心部、松山城から程近い商業地域にあります。このお店を運営する(株)夢とありがとうは、チャレンジ精神旺盛な起業家・秋川俊光さんが、会社に関わる全ての人(顧客、従業員)の幸せを目指すことを通じて、自社の発展、ひいては地域が元気になってほしいという思いを込めて設立しました。このお店の他に3店舗を運営する当社では、「働きがい」をはじめとした経営理念を従業員にしっかり浸透させることで高い定着率を実現しており、イ



右：「ここで働けてよかった」といってもらえるのが何より嬉しいと語る秋川社長

左：接客関連のグランプリで四国地区の最優秀賞に輝いた従業員の尾形さん。秋川さんは、従業員のスキルアップも積極的に支援している

ンターネット上でも「働きたい店舗」として評判になっています。では、どのような取組みを行っているのでしょうか。

☆☆☆

「働きがい」をわかりやすく示すことで

「自ら考えて行動できる人」を集める

秋川さんは、学生時代にアルバイトをしていた居酒屋で飲食業の魅力に触れ、将来の独立を決意。今や立派な人物となつてゐる大手飲食店経営者の居酒屋などに勤務し、経験を積みながら必死の思いで毎月11万5千円を積み立てて独立資金を貯めました。そうし

た経験の中で、繁盛店の従業員は押しなべてモチベーションが高く、自ら考えて行動できる人が多いことに気づいたといいます。

「私の考えでは、自ら考えて行動できる人は給与などの勤務条件だけではなく、『お客様に喜んでもらえて嬉しい』、『上司や同僚から信頼されている』などの『働きがい』を感じていてと思います。逆に言うと、『働きがい』をわかりやすく示すことができれば、自ら考えて行動できる人を集めることができるのではと考えました。さらに、こうした人が当社を通じて仲間としてつながることで、上司の指示を仰がずとも自ら考えて問題解決できる集団ができます。そうなれば、それはすばらしい職場ではないでしょうか」

この気づきをきっかけとして、『働きがい』を分かりやすく落とし込んだ経営理念や中期ビジョンなどを形にした経営方針書（通称…赤本）を毎年作成し、アルバイトを含めた全従業員に

活気あふれるお店に「働きがい」あり！

～青年社長が「夢」にチャレンジ～

配付しています。また、理念の浸透や従業員の成長に資する取組みとして「HAPPYプロジェクト」を立ち上げました。

プロジェクトの具体的な取り組みとしては、月に1回「理念塾&社員総会」を開催し、日々の仕事で経営理念に沿ったものになっているかどうかを確認し合ったり、上司と部下の個人面談を月一回必ず実施するなど縦のラインの意志疎通を整備。また、従業員同士の横の関係を良好に保つため、仲間への感謝を言葉にした「ありがとうカード」を交換する仕組みを作ったり、

仲間の良いところを褒め合う「褒め訓練」などに取組みました。外部研修としては、心理学セミナーへの参加や生産者（農家等）訪問など、幅広い知識の習得を支援。レクリエーションも、2泊3日の社員旅行や運動会などイベントを充実させました。こうした取組みに加え、アルバイトの給与体系を「人間のスキル」で5項目、「仕事のスキル」で15項目を設定するなど

明確化し納得性を高めています。これら以外にも様々な活動を実施した結果、お店に顧客として通っていた人が「このお店で働きたい」と応募してくることが増えるなど口コミで情報が拡がり、高い定着率に繋がっています。

☆☆☆

これからの「夢とありがとう」

秋川さん率いる（株）夢とありがとうでは、2020年に「地域No.1の居酒屋企業」、2030年に「人と強みの相乗効果で成長」、2040年に「革命と挑戦で次の時代へ」のように、フレーズを決めて中長期的なビジョンを描いています。

「将来的には、居酒屋だけにとどまらず、総合的な飲食店企業にしていきたいと考えています。ただ、それには時代ごとに必要とされる商品・サービスを提供し続けていけるように、常にチャレンジしていく姿勢が必要です。これからも従業員への「働きがい」の提供を通じて、お客様ひいては地域にも幸せになつてもらふことを目指して頑張っていきます」

秋川さんの「夢」へのチャレンジは始まったばかりです。